

令和元年度 第8回 小野申人といきいきトーク

と き	令和元年2月27日(木) 19時~20時30分
と ころ	下川辺保育所
テ ー マ	これからの府中市の子育て支援について
出席者	下川辺保育所・協和保育所保護者10名 市長、唐川健康福祉部長、荻野教育部長、 山田女性子ども課長、大川学校教育課主幹

今、府中市でも子育て・教育の点については、重要施策の一つとして挙げさせていただき、進めているわけだが、そうした中、まさに子育てをしている皆さんの意見を聞きながら、今後の府中市政に取り組んでいきたいと思っている。

市

《保育所》

- ・ 協和保育所がこの3月でなくなる。なくなった後の市からのフォローをしっかりとしてほしい。来年度以降、協和保育所に通うはずだった子にも同様にフォローしてほしい。

協和保育所については休所という形になる。コミュニティ・スクールを取り入れる中で、地域との連携という部分で協和保育所の活用を地域の方々と共に検討していきたいと思う。何かいいアイデアがあればまた教えていただきたい。
来年度以降の保育所に通う子の支援についても検討中である。

市

- ・ 府中市の保育所は民営化されている。まだこれは推進されていくのか。また広谷や上下以外の保育所は老朽化が進んでいる。
- ・ 下川辺保育所の建物が古いが耐震強度は大丈夫か

建物については老朽化が進んでいるものについて、民営化する・しないの関係はなく、随時計画を立てて進めている。公立、私立ともにいい部分がある中で残していかなければならないものは残していく必要があると考えている。
建物の耐震の基準値は満たしている。

市

- ・ 保護者連合会をやらせてもらっていて、保護者の要望をまとめていた。しかし、毎年同じ意見ばかりになっていて、これをして意味があるのかと思うことがある。市としては何を要望として出せば、改善できるのか教えて欲しい。

何年か前からあった保育料を安くしてほしいという要望は結果、無料となった。他に言えば、ソフト面で保育のこういうことをしてほしい、ここを工夫したいなどがあれば参考にさせて頂く、逆に子どもの安全面の部分で危ない箇所等があれば教えていただき

女課

たい。

《義務教育学校》

- ・ 義務教育学校となり、小学校の卒業式がなくなった。小学校から私立の中学校へ行くとき、そういった子たちは卒業式という思い出がない。それに寂しさを感じる。中学校から別へ行く子に対し、何か形あるものを渡せないか。また、修学旅行はどうか。保護者としては、小学校でも、中学校でも行かせてやりたい。

修学旅行については研修になるのかそのまま旅行となるのかは今後の協議次第にはなるが、義務教育学校の良さであれば、運動会が一緒に出来るなど、今後、それぞれの良さを最大限に活かす中で取り組みをしていく。

市

《交通》

- ・ 府中明郷学園までスクールバスで通っているが、他のことにも活用できないのだろうか。保障など件もあり、難しいのかもしれないが、もったいないと感じる。

現在のスクールバスに一般の方も乗車できるか模索中で、先日、国土交通省へも行き、その件についての協議を行った。活用の方法については色々あるので、今後、模索していく。

市

《高校》

- ・ 新聞で上下高校が定員を割ってしまいなくなるという記事を見たが、今後上下高校はどのようなのか。

広島県教育委員会から定員80名を割ってしまった場合、廃校または統合を検討するという指針が出ている。現在、県教育委員会のホームページへ県内の高校の受験者数が掲載されているが、上下高校へ応募している生徒さんがすべて合格すれば、その基準を上回る結果となる。これまで市長を中心に上下高校の活性化協議会を立ち上げ、府中市、教育委員会、地域の方々と活性化の方法を模索してきた。結果、来年度の当初予算いで上下高校へ通う生徒へのスクールバス運行であるとか、高校の魅力を作るべく、天領あやめ塾の充実を短期的に取り組んでいく。中長期的には学校の魅力を高めていくということで授業の内容面を県とも連携して充実かつ濃いものにしたいと考えている。おかげで応募者数も定員を超える形で集まってきてくれたので、現時点では廃校・統合という事はないし、例え定員を割っていたとしても今すぐ廃校・統合になるわけではない。

教部

《医療》

- ・ 市民病院の小児科の先生が常勤でいないため、先生が変わると一から症状の把握や信頼関係を築かないといけない。
- ・ 産婦人科がない。

大学病院の方にもお願いはしているが、全国的に産科・小児科のお医者さんが少ない状態。現在は近所と言うと中国中央病院であり、市民の方々には不便をかけて申し訳ない気持ちでいっぱいである。引き続き病院へはお願いしていく。

市

《発達相談》

- ・ 発達相談で療育と判断が出て、療育へ相談に行くと利用がいっぱいですと言われ、診断された子どもが行ける状態になっていない。そのため、療育施設を増やしていただけたらと思う。

ネウボラに発達相談がある。女性こども課にも非常勤だが専門の心理士がおり、保健師と一緒に検査ができる状態を整えている。未就学児を含め、小学生まで受け入れている。療育専門の受診が受けられればいいが、定員がいっぱい受けられないということもあるので、そこにどのように関わっていくか。家での関わり方を含めて考えている。一番は療育施設を増やせばいいが、事業所との兼ね合いもあり、すぐに増やすのは現状難しい。

女課

小学校へ上がる子どもの情報は、保育所・幼稚園から連携している。例えば、こういう症状がある、こうして欲しいなどの要望。これを聞くことで、特別支援学級にいなくても、普通学級で先生からのサポート受けやすくするなどの環境を整えることができる。女性こども課、教育委員会、学校、保護者を含めて情報共有をこれからも連携を続けていく。

教部

療育のことや学校へ子どもが行きたくないなど色々な悩みがあると思うが、教育委員会はもちろんネウボラなど気軽に相談に来て欲しい。学校であればスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーもいる。

市

《放課後の居場所づくり》

- ・ 第2期子ども・子育て支援事業計画の放課後の子どもの居場所づくりとあるが、これはどういった取り組みなのか。前の児童館が、とても良くて、急になくなったのが残念。あれは放課後の居場所だった

現在、放課後の居場所を市役所の色々な課と考えているところ。放課後児童クラブは保護者の方が就労していることが条件で、利用時間については15分ではあるが18時から18時15分へと見直しを行い、長期休暇については8時半開始を8時開始とし、土曜日の利用も隔週から毎週土曜へ変更している。

地域でどういう場所があるか。放課後の健全な過ごし方を検討している。児童クラブの利用時間の変更や支援員の増員などを行いつつ、今後、居場所づくりを充実させていく。地域でこういくことが出来るということがあれば遠慮なく提案してほしい。

女課

《外国から日本にきて困っていることなど》

- ・ 言葉の壁に困っている。言葉が通じないことは子どもの人間関係で付き合っていくのがなかなか難しい。
- ・ 教育委員会へ行って娘のサポートをしてくれる先生を付けてもらえるよう手続きをした。支援の先生が付いてくれる時間が1週間で7時間と聞いたが、日本語が上手になるまでもう少し付いてくれる時間を延ばして欲しい。

入学前に相談に来て下さったお陰で丁度今日本語指導の非常勤講師を県教育委員会へ申請するタイミングと重なっており、手続きを進めたところ。それで加配の先生が付いてくれることとなっている。しかし、なかなか100%の要望に応えられていないのが現状である。

学主

- ・ 保育料無償化などはとても助かっているが人口が減っている中でそういった施策をして、逆に住みにくくなったでは意味がない。人口が増える施策をお願いしたい。

子育て支援も人口減少を少しでも緩やかにするための施策である。この施策も皆さんの税金を使って行っているが、現時点では税金をなぜ子育て支援に使うのかという声は出ていない。むしろ、みなさん子どもたちを大事に育てていこうという風に思っている。

市

《公園》

- ・ 府中市へは公園が少ない。また、遊具の老朽化が進んでおり、使用するときにとめらってしまう。大きい公園があれば嬉しい。

ポムポムの隣の広場と川辺を使い、公園を作る計画がある。他の回でも同じように大きな公園があるといいという声が上がっているので、もう少し待っていただきたい。

市

《ごみ》

- ・ ごみの分別はどうにかならないか。またプラスチックごみの回収日を増やしてほしい。福山市とどう違うのか。また、ごみの有料化はなぜしたのか。

焼却炉に違いがある。その福山市の焼却炉も寿命が来ているため4年後には箕沖を作る。府中市もそこへごみを持っていくので少しだけ分別が解消されるだろう。ごみ袋の有料化することでごみの減量へつながる。実際にごみが減るというデータでも出ている。

市

- ・ ごみの不法投棄はどうなのか

グリーンパトロールのおかげで減ってはいるが、完全になくなっているわけではない。

市

またコンビニやスーパーマーケットへごみを捨ててに行く方もいる。ごみは今後も減らしていかなければならないので、今後でも取り組んでいく部分である。

今日に限らず、要望などありましたら、遠慮なく言ってほしい。